

人 輝く・安芸高田



あきたかた

議会だより

なん ば あや か

今回の題字は、**難波采花**さん(高宮中学校3年生)です。



6月定例会2~4

委員会審査報告5~7

一般質問
11人が**市政を問う**8~13

開かれた議会をめざして
シリーズ**議会改革**...14~18

あんな こんな
地域の**かがやき**.....22

第30号

2011(平成23)年8月1日発行

一般会計補正予算

共にがんばろう東日本 4577万円追加

可決

被災地（東日本大震災）への市職員派遣など



職員が見た被災地（宮城県気仙沼市）



避難所の状況（宮城県気仙沼市）

6月定例会

6月定例会を、6月13日～29日までを会期として開催しました。

一般会計補正予算など6議案について質疑・答弁があり、すべて原案のとおり可決しました。（補正予算の審査は3～4ページに掲載）

各常任委員会へ付託のあった条例など5議案は、すべて原案のとおり可決しました。（各常任委員会の審査は5～7ページに掲載）

一般質問では、11人が市政を問いました。（8～13ページに掲載）

（付議された案件）

- 諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 諮問第3号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 同意第2号 安芸高田市公平委員会委員の選任の同意について
- 承認第5号 専決した事件の承認について
- 議案第53号 【安芸高田市税条例の一部を改正する条例】安芸高田市暴力団排除条例
- 議案第54号 財産の無償譲渡について
- 議案第55号 【消防団詰所関係】安芸高田市自家用有償旅客運送条例の一部を改正する条例
- 議案第56号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 議案第57号 財産の無償貸付について
- 議案第58号 【高宮地区工業団地下水处理施設関係】安芸高田市営住宅条例の一部を改正する条例
- 議案第59号 安芸高田市営特定公共賃貸住宅条例等の一部を改正する条例
- 議案第60号 財産の無償譲渡について
- 議案第61号 財産の無償貸付について
- 議案第62号 工事請負契約の締結について
- 議案第63号 【安芸高田市消防本部通信指令台更新工事】平成23年度安芸高田市一般会計補正予算（第2号）

快適な住環境の整備

～防犯灯のLED化や鳥獣対策防護柵など～



補助金の活用で節電対策

予算常任委員会

6月13日の本会議において審査を付託されました一般会計補正予算（第2号）について、6月14日に委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 赤川三郎
副委員長 水戸眞悟
委員 議長を除く全議員

総務部

前重 福島県郡山市への支援派遣予定職員の職員手当等は、**杉安総務課長** 保健師、一般職員ともに旅費、時間外手当等通常業務と同様の手当となる。

青原・金行・塚本 防犯灯のLED化で市管理のものへの対応、また今後の補助申請への対応は。

行森危機管理室長

市管理のものは本年度で全基完了予定、集落単位での補助申請への対応は今後とも継続する。

福祉保健部

今村 「広島県思いやり駐車場利用証交付制度」について、市内に何力所の駐車場を設けるのか。

俵社会福祉課長 市内に37施設を予定し、新設区画を合わせ、合計108区画を予定している。

産業振興部

秋田 ワイヤーマッシュ（防護柵）の申請状況と今後の見込みは。

猪掛地域営農課長 昨年度と同様の補助率で2262万円分の事業量、当初要望の半分程度となった。



利用証交付制度 7月1日実施

ているが内容整理のうえ事業実施したい。

青原 ズビエ活用について地域振興事業団への委託と猟友会との調整は、又増改築費用が無駄にならないよう要望する。

清水産業振興部長 猟友会並びに有害鳥獣捕獲班には過日緊急総会の席上で協力をお願いしている。

前川 「ふるさと応援の会」について入会ならびに入会金の状況は。

猪掛地域営農課長 会員申込数は現在500名超で二次募集中であり、入金金については振込用紙を作成中である。

- 防犯灯設置費 2,255万円 (3,150基、進捗率70%)
- 鳥獣対策費 762万円 (当初予算2,500万円、30%増)
- 地産地消推進費 774万円 (ふるさと応援の会・ジビエ事業)
- 被災者支援費 266万円 (東日本大震災支援対策職員派遣分)

今村・水戸 地産地消の推進について地域振興事業団への委託理由と予算の積算は。

清水産業振興部長・猪掛地域営農課長
事業団のノウハウを活用し、市と連携し推進したい。又「ふるさと応援の会」「ジビエ特産化事業」などそれぞれの事業内容を精査のうえ予算化した。



レインボーファーム 食肉処理施設に活用予定

水戸 施設修繕費の内訳は、又地元猟友会との緊密な連携を要請する。

清水産業振興部長・猪掛地域営農課長
イノシシ、シカなど野生鳥獣肉の処理方法等研究のため、食品衛生法に基づき、既存の施設を食肉処理業許可施設とするための改修費用。地元猟友会との連携を密にし取り組む。

■ 教育委員会

青原 給食センター所長人事、天下りが取り立たされているがその考えは。アグリフーズの職員が兼職でもよいのでは。

佐藤教育長 人事上の都合で非常勤職員として適任者を選任した。天下りと思っていない。給食センターの運営は市の直営でありアグリフーズへの委託は調理、配送などの一部業務委託としている。

■ 全体質疑

青原 企画振興予算で文化遺産を活用した観光振興・地域活性化事業と中山間地域観光メニュー強化事業の詳細は。

竹本企画振興部長
観光振興・地域活性化事業は、10分の10の国費交付金で、



練習に励む吉田高校神楽部員

神楽体験、高校生の神楽甲子園、文化遺産記録作成等を申請している。中山間地域観光メニュー強化事業は県費2分の1の補助事業で神楽体験実証実験や広島市からの集客実証実験を想定したもの。

総務企画常任委員会

5月16日所管事務について3件の調査を実施。また、6月定例会で付託された議案1件、所管事務調査2件を、6月22日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市暴力団排除条例

○東日本大震災による福島原発事故を受けて住民の生活と健康を守るべく、エネルギー政策の見直し等を求める要望書

委員長 秋田雅朝
副委員長 前重昌敬
委員 先川和幸
山本 優
赤川三郎
今村義照
藤井昌之

市暴力団排除条例

10月1日から施行！



■質疑

先川 本条例を出された背景は。また、他の市町では暴力団条例はどれくらいあるか。

沖野総務部長 23年4月1日、広島県暴力団排除条例が制定。あわせて各自治体が同じ趣旨の条例を制定することにより、暴力団排除を推進していくため。
行森危機管理室長 県内23市町のうち、8市6町が議会へ上程予定。

山本 市内での暴力団組織、事件数の把握はあるか。

沖野総務部長 安芸高田警察署の説明では、暴力団事務所はなく、関係者は4人居住している状況。
前重 市民が暴力団・暴力団員と特定することが難しいと思うがその確認は。
沖野総務部長 安芸高田警察署に対する該当者照会結果により判断する。服装や身だしなみで判断するものではない。

概要

暴力団の排除に関する基本的施策、暴力団員に対する利益の供与の禁止、祭礼からの暴力団の排除等を定めることにより、市民の安全で平穏な生活を確保する。

要望

◎東日本大震災による福島原発事故を受けて住民の生活と健康を守るべく、エネルギー政策の見直し等を求める要望書

要望者：広島県保険医協会理事長

趣旨：福島原発事故において、事態の早期収束を国及び電力会社に求めるとともに、全国の住民へ放射線の影響等に関する情報を、迅速且つ正確に提供することを求めるよう、責任を持って住民への情報提供を行うこと。

早急に原発建設に係わる基準を見直すことを国に求めるよう、現行の基準の下で原子炉設置が許可されないよう監視を強める。

国に対して原発に依存するエネルギー政策を早急に見直すことを求める。

【審査の経過】 委員会として慎重に審査を行い、本要望書については、4点を国に対応を求めるよう意見書を提出することにしました。

文教厚生常任委員会

6月定例会で付託された案件はなく、送付された要望1件、陳情1件を、6月23日に委員会を開き慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市給食センターへの食料物資納入にかかる、地元事業者の積極活用について

○教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度を堅持を求める意見書提出に関する陳情

委員長 青原敏治
副委員長 穴戸邦夫
委員 児玉史則
委員 水戸眞悟

山根温子
金行哲昭
塚本近

要望

◎安芸高田市給食センターへの食料物資納入にかかる、地元事業者の積極活用について

要望者：安芸高田市商工会

要旨：地元産食材、地元生産品の使用はもとより、地元の業者の積極的活用で、地元での雇用の維持、新規雇用の創出など、地場産業の活性化が図られる。

陳情

◎教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書提出に関する陳情

陳情者：広島県教職員組合ひろしま地区支部

要旨：1. 教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について国庫負担率を2分の1に還元することを含め、制度を堅持すること。
2. 学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校・通学路の安全対策など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

上記の2件の要望・陳情は、委員会で採択し、諸手続きを経てそれぞれ関係機関（国、市）に意見書の提出、要望書送付をすることとしました。



給食センター調理場



教育予算の充実を

産業建設常任委員会

6月定例会で付託された議案4件、要望1件について、6月24日に委員会を開き慎重に審査し、議案4件を原案どおり採択しました。

(主な審査)

○安芸高田市営住宅条例の一部を改正する条例

○安芸高田市営特定公共賃貸住宅条例等の一部を改正する条例

○財産の無償譲渡については、西土手住宅集会所関係
○財産の無償貸付については、西土手住宅集会所関係

委員長 前川正昭
副委員長 石飛慶久
委員 大下正幸
和田一雄
入本和男
亀岡等



吉田町西土手ふれあい広場（住宅跡地）

財産の無償貸付について 西土手住宅集会所関係

概要

市営西土手住宅6棟10戸を解体し、西土手住宅集会所の底地を含めたその跡地を西土手自治会へ無償貸付。

質疑

和田 貸付期間30年設定の根拠は。

河野建設部長 借地借家法と安芸高田市財務規制による。

要望

◎土地改良施設の処分の取り消し及び 農道維持管理の毅然たる処置について

請願者：有留地区は場整備組合

粟森谷地区は場整備組合

趣旨：農道維持管理について、向原町有留6区内の農道の境界が侵奪されている。

土地改良施設の処分の取り消しについて、有留6区内の農道及び有留7区内の用水路が不当に財産処分されたので、その財産処分の取り消しを求める。

以上の2件を市が実行しない事の調査及び措置を要望します。

【審査の経過】

- ・土地改良施設の処分の取り消しについて、財産処分の方法に不当性はない。
 - ・農道維持管理について、舗装面より50cm離れた所にブロックの設置で、境界に問題なし。
- 上記の報告を市より受け、当事者への早期の十分な説明をすることを市へ申し入れしました。

市政を問う

光の道

新たな通信機器で

市長／高齢化社会をサポート



山根 温子
(無所属)

山根 IP告知端末選定の理由は。

市長 防災告知のほか、現在の有線電話の代替え機能を持つ。また、双方向機能を備え、将来的に福祉や産業、教育分野などへの多様な活

用が期待できる。

山根 市内のひとり暮らしの高齢者はこの6月現在2,599人、そのうち要支

援・要介護者は890人。機器の操作などひとり暮らしの高齢者の利用支援と利用料負担は。

市長 市民総ヘルパーと光の相互の利



IP告知端末（イラストイメージ）

点を活かしていきたい。利用料については、委託事業者との協議調整の上、料金を設定。

山根 多様な活用に向けた整備のために各課連携の必要性は。
市長 関係部署との連携を図り、よりよい運営で対応。

観光地

道路など周辺整備は

市長／案内板や標識の設置を検討



宍戸 邦夫
(無所属)

宍戸 東日本大震災の影響による雇用環境の変化で、市税など収入の見通しと、生活相談窓口設置の必要性は。

市長 今のところ市税に具体的影響は見られないが、今後とも注視していく。生活相談窓口の設置は今後の状況を踏まえ、現在設置している安芸高田市緊急経済・生活支援対策本部の活用を検討する。
宍戸 市は観光資源

の充実強化に力を入れているが、観光地に至るまでの道路及び周辺の環境整備は、観光振興にとって重要な要素と認識している。今後とも除伐や除草を行うとともに、案内板や標識の設置など検討する必要がある。



道に張り出した樹木

一問一答

11人が

金行 NPOとの協働について、国県はNPOや企業に広く公的なサービスを担ってもらおうと考え（新しい公共）と位置付け、積極的推進をしている。NPO等に事業支援は。



金行 哲昭
(政友会)

非営利団体

NPO事業支援は

市長／中身によっては支援

金行 積極的な権限

市長 本市には地域振興組織があり、行政と協働し地域づくりを推進している。中身はNPOと同じであり、若者定住・企業の発掘があり、中身によっては支援も行う。



積極的な権限移譲を

市長 本市には地域振興組織があり、行政と協働し地域づくりを推進している。中身はNPOと同じであり、若者定住・企業の発掘があり、中身によっては支援も行う。

市長 21年度より、毎月の幹部会議で情報の共有と合意形成を図っており、上半期及び年次でホームページや市広報紙で公表する。最終的には、目標管理制度や行政評価システムを、より定着発展することにより、なお

今村 今年度で行政評価システム及び目標管理制度の完成化に向かうとされているが、その進捗状況について伺う。



今村 義照
(あきの会)

行政評価

進捗状況は

市長／成果を意識して取り組む

一層成果を意識した質の高い行政運営に取り組んでいきたい。

今村 端的に市長の政策を示し、その経営方針を市民に示さないか。

市長 少子高齢化の中で、その対応のため、市民に協力してもらったため、福祉のコスト、医療コストを下げようというのが私の政治理念である。

防災

災害対策は

市長／見直し修正を



山本 優
(絆)

は。る支援の現状と計画
市長 各関係機関と連携し、計画・実施しており、義援金についても日赤を通し

山本 情報伝達体制の強化について。
市長 早急に整備を図り、光ネットワーク、携帯電話の利用についても検討。

山本 備蓄品については。
市長 自治体、民間との協定を結び対応。

ておこなっている。

山本 震災を契機に防災基本計画、防災対策について見直しが必要ではないか。
市長 自主防災組織の重要性が認識され、県の計画ともあわせ、見直し修正を行う。

山本 認識を高めるための計画は。
市長 防災フェアを企画し、職員の意識も高める工夫をする。

山本 被災地に対す



自主防災訓練

郡山城跡

歴史的風致維持向上計画への取り組みは

教育長／策定計画なし



石飛 慶久
(無所属)

石飛 郡山麓の一角が、崖崩れ等の危険性を含んでいます。が、全山災害防止のための早急な手当の必要性を伺う。
市長 山麓地域の安全安心を確保するための対策を検討する。



整備が望まれる郡山山道

石飛 歴史的風致維持向上計画への取り組みの有無を伺う。
教育長 その計画の策定する考えはない。案内看板などは充実する。

石飛 観光協会の設立の時期等を伺う。

市長 早期の設立は重要。23年度内での設立に向けて準備している。全市のな組織体制とし、各団体の連携を取り、幅広い運営の出来る組織の立ち上げを準備している。

先川 横断歩道の音響式信号機の設置は。

市長 実態を調査し、早急に改善する。

先川 支所等の点字ブロックや誘導サインの維持保全は。

市長 福祉のまちづくり条例の理念に基づき、安全で安心な環境づくりに努力する。

先川 視覚障害者に対する公共施設の今後の整備方針は。



先川 和幸
(無所属)

視覚障害者

公共施設の整備 状況は

市長／安心安全な環境づくりに鋭意努力

先川 選挙での点字

市長 ニーズの拡大調査を行い、県に早急な設置を要望する。



音響式信号機の設置拡大を

投票の実態は。
市長 今後、器具の取り扱い等職員研修を行い、改善に努める。

先川 災害時の避難場所の見直しは。
市長 このたびの大震災を教訓とし、さらなる見直しを図る。

前重 協働のまちづくりへ市民の参加、地域課題への対応などを誰がどんな役割を担い、どのような方法で決めていくか文章化した仕組みの基本ルールをさだめた、基本条例の整備



前重 昌敬
(絆)

まちづくり

基本条例の整備は

市長／今後の課題として受けとめる

前重 地域振興基金、まちづくり事業

が必要ではないか。
市長 情報の公開・共有、市民参画の推進など諸制度の充実に努め、将来の制定を踏まえ必要な環境整備を行っており、条例制定については課題として受けとめておきたい。

基金の具体的な活用は。
市長 基金総額33億円、地域振興基金は原則、合併特例債の償還終了の平成31年度以降に、まちづくり事業基金は、平成26年度以降の普通交付税減額に対し、地域振興事業に有効活用したい。



地域振興会により整備された花壇（吉田町相合）

地域防災 万全な防災対策を 市長／防災計画の周知徹底を図る



秋田 有事に備え、本市防災戦略の基本である「地域防災計画」を概要版的な策定を行い、周知・対策に取り組みたい。
市長 防災計画を市民と共有することが大事だと思ってお

り、現在本市の防災・災害を6項目くらいにパターン化して策定し、周知・徹底を図るつもりである。
秋田 危機管理体制の充実には、災害時の明確な情報提供が重要で、伝達方法で防災用携帯ラジオ等を有償配付し、取り組まれては。



万全な防災対策

市長 情報提供の充実は重要課題で、携帯メール・ラジオ等、手法に加えたい。また、自主防災組織に役割を担っていただきたいと思う。
その他の質問
○防災教育について
○中学校「武道とダンスの必修化」の取り組みについて



青原 土師ダムサイクリングターミナルと周辺施設のリニューアル、新施設建設が必要と考えるが、サイクリングターミナルの改築と今後の予定を伺う。
市長 現在、建て替えるよう基本設計・実施設計の準備をしているが、入浴機能・宿泊機能は盛り込まないこととしている。

青原 今、ランドゴルフ等が活発に行われている。昨年はコース整備のための芝張りが行われたが途中で止まっていた。その後どうなっているか、経過と経

サイクリングターミナル 改築と今後の予定は 市長／建て替え準備中



建て替えが待たれるサイクリングターミナル

緯、また、今後の見通しについての考えは。
市長 この件は、通常のランドゴルフ場ではなく、市の営業施設としての位置付けを考え、計画を中断した。今年度で、グレードの高いものを整備したいと考えている。

入本 農業の将来的な発展を図るために、生産・加工・販売の農業経営に、6次産業の支援基金を。
市長 広島北部農協や地域振興事業団等と連携し、農産物の加工や商品化にも積極



入本 和男
(あきの会)

6次産業

農業支援の基金を

市長／検討する



市の基幹作物の一つ、水耕ネギ

的に支援を行っており、農業の活性化に行政一丸となって対処する。

入本 全国で2000園が「ヨコミネ式」

保育園の運営を導入されているが、市の考えは。

教育長 特色ある幼児教育の展開は、保

護者や地域の信頼を得ることにつながり、若者定住政策の一環に発展していくことにもつながり、研究する。

入本 文化センターの利用の統一を。

教育長 市民のみなさんが気持よく利用できる環境にしたい。

議会 マメ知識

議員の寄付行為の禁止

議員は、公職選挙法により、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状などのあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除きます）を出したりすることが禁止されています。

例えば、議員が市内のお祭り、会合、スポーツ大会、親睦旅行などに対して、「寄付やお祝い」「飲食物の差し入れ」などをした場合には違法行為として処罰されます。

また、個人に対しても、「病気見舞い」「入学や卒業等の祝い金」「お中元やお歳暮などの贈り物」を贈ることが禁じられています。（ただし、議員本人が出席する結婚披露宴の祝儀や葬儀の香典は例外的に罰則の対象となりません。）

シリーズ(3) 議会改革特別委員会の取り組み

『わかりやすく、開かれた議会をめざして!』

◎これまでの活動報告

回数	月日	協議内容又は結果
第 8 回	4月20日	市民アンケートの実施・各種団体との意見交換について内容検討
第 9 回	5月 9日	各種団体との意見交換について内容検討。市民アンケート発送作業
意見交換会	5月13日	美土里町地域運営協議会連合会
意見交換会	5月19日	高宮町地域振興会連絡協議会
意見交換会	5月24日	向原町地域振興会連絡協議会
意見交換会	5月27日	吉田町地域振興会連絡協議会
意見交換会	6月 1日	甲田町地域振興連合会
第 10 回	6月10日	市民アンケート結果のまとめ・各種団体との意見交換のまとめ
意見交換会	6月13日	八千代町地域振興会連絡協議会
第 11 回	7月 1日	市民アンケート結果のまとめ・各種団体との意見交換のまとめ
第 12 回	7月 6日	今後のスケジュールの確認、市民アンケート等の分析、全議員の意見集約
第 13 回	7月12日	中間報告の取りまとめ
第 14 回	7月14日	中間報告の最終調整



美土里会場



高宮会場

市議会に関するアンケート調査結果

安芸高田市議会では、市民の皆様にはわかりやすく、開かれた議会をめざして、平成22年12月に議会改革特別委員会を設置し、現在、議員定数、報酬、政務調査費について調査研究を行っているところです。

この度、市民の皆様の議会に対するご意見やご提言をうかがい、今後の具体的な議会改革に反映させていくため、市民の方を対象にアンケートを実施し、435人（回答率43.5%）の方から回答をいただきました。

アンケート調査の概要

- 調査対象者：20歳以上の安芸高田市民 1,000人
- 対象者の選定：無作為抽出（地域別、世代別）
- 調査方法：郵送配布（回収）による無記名アンケート
- 調査期間：平成23年5月10日から5月31日

集計結果の見方

- ・この調査結果については、各質問に対する回答を単純集計しております。
- ・百分比は回答者数を100%として算出し、本文及び図表の数字は、小数点以下第1位を四捨五入しています。

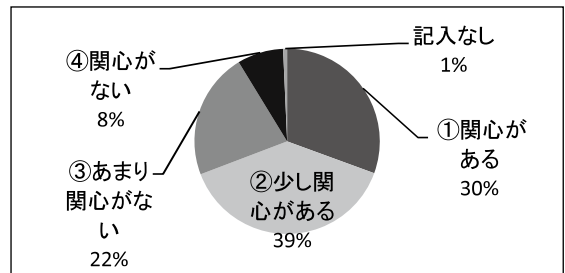
問1 性別はどちらですか？
男性：45% 女性：55%

問2 年齢を教えてください。
20歳代：6% 30歳代：11% 40歳代：11%
50歳代：19% 60歳代：32% 70歳以上：21%

問3 どの町にお住まいですか？
吉田町：30% 八千代町：11% 美土里町：12%
高宮町：15% 甲田町：16% 向原町：16%

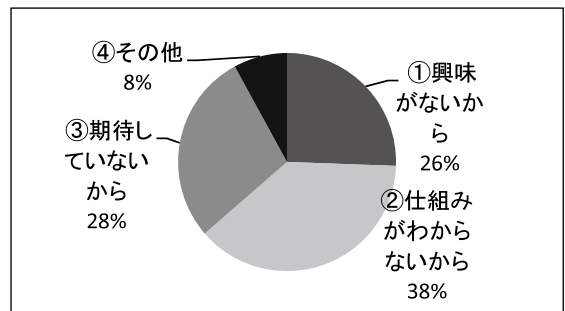
問4 市議会に関心がありますか？

① 関心がある	30%
② 少し関心がある	39%
③ あまり関心がない	22%
④ 関心がない	8%
記入なし	1%



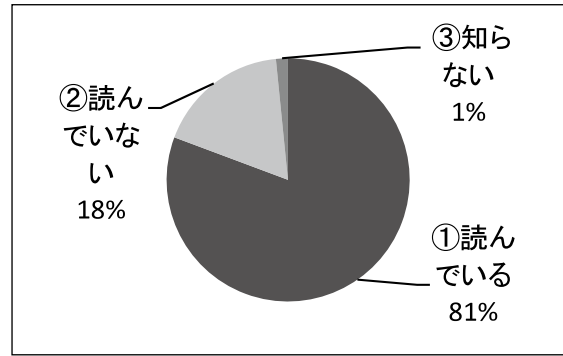
問5 問4で③、④を選ばれた方にその理由をお尋ねします。（複数回答可）

① 興味がないから	26%
② 仕組みがわからないから	38%
③ 期待していないから	28%
④ その他（ ）	8%



問6 「議会だより」を読んでいますか？

- ① 読んでいる 81%
- ② 読んでいない 18%
- ③ 議会だよりを知らない 1%



問7 市議会の会議などを見た（傍聴した）ことがありますか？（複数回答可）

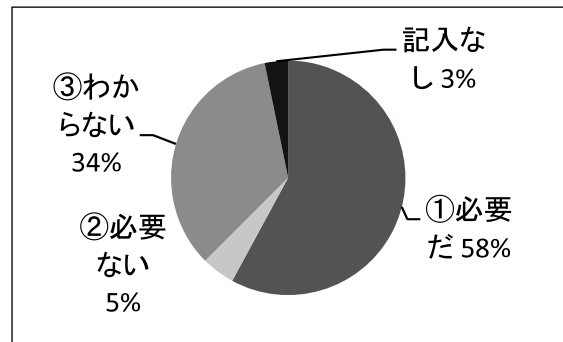
- ① 議場で傍聴したことがある 7%
- ② 委員会を傍聴したことがある 1%
- ③ 市役所本庁のモニター中継を見たことがある 8%
- ④ 見たことも傍聴したこともない 81%
- ⑤ 記入なし 3%

問8 昨年11月に「議会報告会」を開催しましたが、あなたの参加状況について教えてください。

- ① 参加した 2%
- ② 用事等で参加できなかった 36%
- ③ 議会活動に興味がないので参加しなかった 11%
- ④ 議会報告会の開催を知らなかった 42%
- ⑤ その他（ ） 5%
- 記入なし 4%

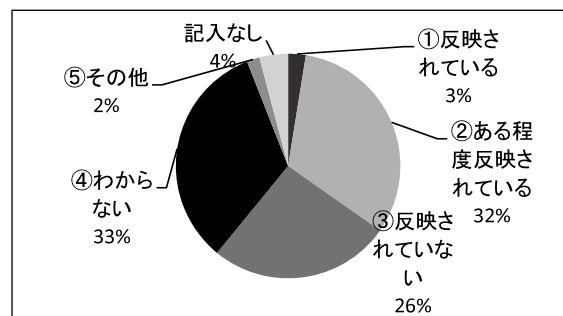
問9 議会報告会について、どう思われますか？

- ① 必要だ 58%
- ② 必要ない 5%
- ③ わからない 34%
- 記入なし 3%



問10 あなたの意見や市民の声が、議会に反映されていると思いますか？

- ① 反映されている 3%
- ② ある程度反映されている 32%
- ③ 反映されていない 26%
- ④ わからない 33%
- ⑤ その他（ ） 2%
- 記入なし 4%

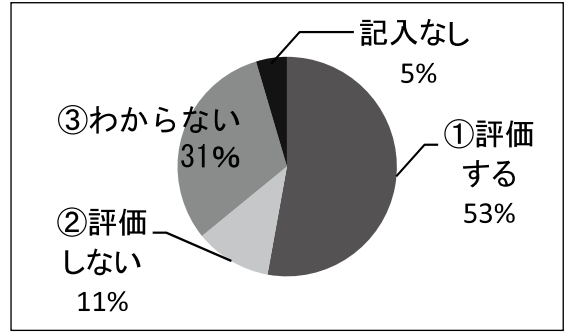


問11 市議会の改革には、何が必要だと思いますか？（複数回答可）

- ① 議会の審査機能の向上、政策提言機能の強化 14%
- ② 休日や夜間など市民の傍聴しやすい議会 12%
- ③ 市民の声を聞くための報告会・懇談会の開催 24%
- ④ インターネットなどの会議中継・録画放送 8%
- ⑤ 市議会ホームページの充実など情報公開 10%
- ⑥ 議員定数・報酬・政務調査費などの検討 26%
- ⑦ その他（ ） 3%
- 記入なし 3%

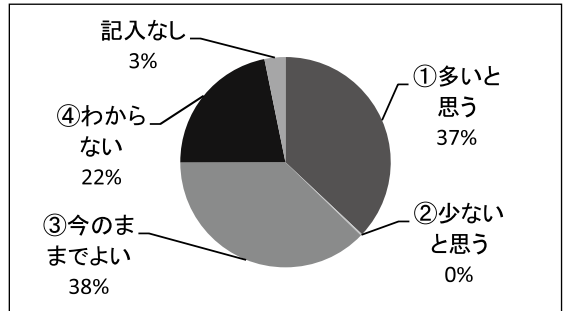
問12 平成20年12月の改選時から、議員定数を22名から20名に削減しました。これについて、どのように思われますか？

- ① 評価する 53%
- ② 評価しない 11%
- ③ わからない 31%
- 記入なし 5%



問13 現在の議員定数について、どう思いますか？

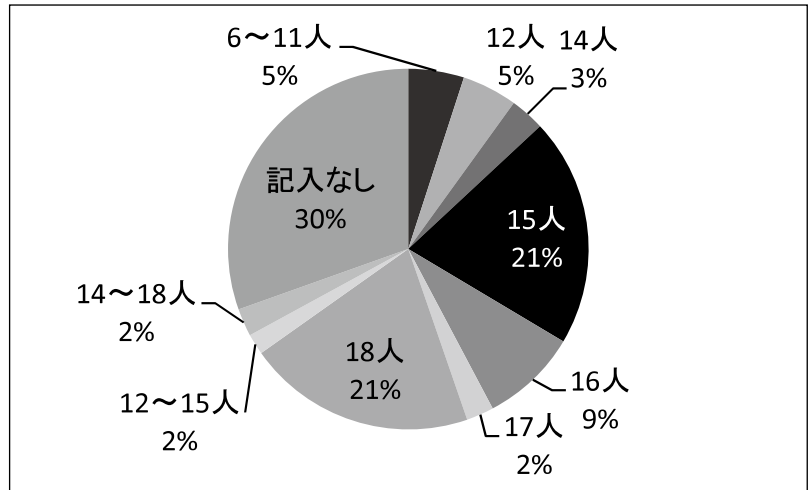
- ① 多いと思う 37%
- ② 少ないと思う 0%
- ③今のままでよい 38%
- ④ わからない 22%
- 記入なし 3%



問14 問13で①、②を選ばれた方にお尋ねします。あなたは議員定数について、何人がよいと思いますか？その理由もお書きください。

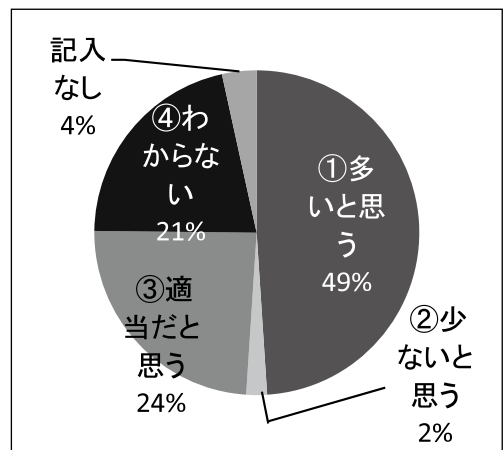
① 多いと思う 161人
何人がよいか 内 訳

② 少ないと思う 1人
何人がよいか 25人



問15 議員には毎月32万5千円の報酬が支給されています。これについて、どう思いますか？

- ① 多いと思う 49%
- ② 少ないと思う 2%
- ③ 適当だと思う 24%
- ④ わからない 21%
- 記入なし 4%



主な理由

* 多いと思う

- ・ 議会の開催日数は少ないのに報酬が高いと思う。
- ・ 仕事内容が伝わっていない。現在どう見ても多いと思う。

* 少ないと思う

- ・ 若手の人将来を目指して努力してもらおう為には少ない。
- ・ 生活を考えるともう少し高くてよい。

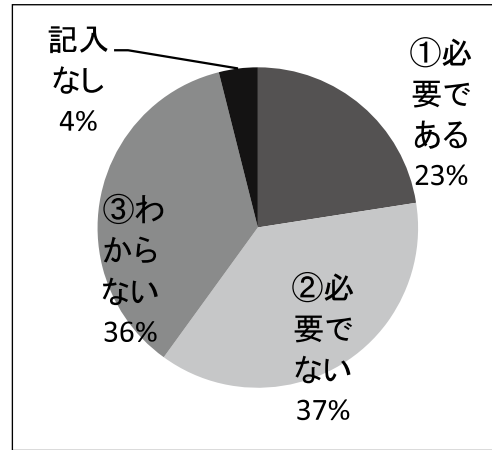
* 適当だと思う

- ・ 毎日活動されているようであれば適切だと思います。
- ・ 議員活動、任期等を考えると適当なものと思う。
- ・ 他の市と比べてあまり少なくは若い者が出ない。

問16

政務調査費についておたずねします。議員の調査研究活動のため、申請した議員に月額3万円が交付されます。この政務調査費について、どう思いますか？その理由もお書きください。なお、未使用額は、返還することになっています。

- ① 必要である 23%
- ② 必要でない 37%
- ③ わからない 36%
- 記入なし 4%



主な理由

* 必要である

- ・議員の政策提言のための活動は必要。そのために活動した議員に対する調査費の支給は必要。
- ・使用された明細がわかれば問題ない。様々な調査が必要だと思う。

* 必要でない

- ・議員報酬の中でやってほしい。
- ・実際なにを行っているかわからない。

問17

市議会へのご意見・ご要望等をご自由に記入ください。

主な意見

- ・安芸高田市は議員さんと市長さんをはじめ市職員に任されているといっても過言ではないと思います。震災以降の日本経済発展の為、この町から市民一体となり助け合い活力のある日本にしていきたいと思います。それができる町でもあると信じています。よろしくお願い致します。
- ・安芸高田市も子供の数がどんどん減っています。これからは、若者が、地元に残れる環境を整えて欲しいと思います。学校でも、子供達を都会に送り出す教育をするのではなく、故郷で活躍するやりがいを教えて欲しい。住み良い市にする為、議員さんは常に色々な人から意見や情報を聞き報酬以上の結果を出せれば、市民からも費用がかかっても納得されます。
- ・あらゆる年代層の意見を議会に反映させる努力を希望します。
- ・各地区の集会等に出来るだけ参加（出席）地区の意見や要望を聞いて市政にいかしてもらいたい。
- ・議員と住民のへだたりが感じられる。又最終的には選ぶ住民が悪いのだが、執行部との政策等の「やりあい」が見られなく、議員の住民の代表であるという自覚が感じられません。
- ・市議会、議会だよりと聞けばとても堅いイメージで目をそむけたくなくなってしまいます。議員数の削減、活動費の削減、報酬の削減等、徹底して、厳しくできるものであるならば、そうしてほしい。市民アンケートでは、市民の声を聞くための一つの方法であり、有意義に意見させてもらいました。
- ・市議会にもっと関心が持てるようにホームページ等の情報公開をよろしくお願いします。
- ・とにかく広く情報を公開、伝達して、議会が何をしようとして、何が出来たのか、なにができなかったのか、又そのプロセスも知りたい。これが分からなければ、選挙も全く無意味なものとなるし、議会も虚しいものではないでしょうか。
- ・任期の間に何回か、自分の行っている議員行動の報告会を開くなり、当選すれば終わりではなく、次回も地域を代表して立てるよう、お仕事をさせて頂きたく願います。

アンケート実施には、多くの皆様からご協力いただき感謝申し上げます。

なお、主な理由、意見につきましては、紙面の都合上一部の掲載とさせていただきます。

22年度 政務調査費

個人交付2年目・・・13人が活用（執行率81%）

378万円支出 90万円返還

【政務調査費とは】

地方自治法に基づき市が条例を制定し、議員が調査研究を行うために必要な経費の一部として交付する経費のことです。

申請に基づき1人月額3万円が交付され、年間で最高36万円を政務調査費として支出することができます。なお、支出額については、収支及び実績報告書を提出し、残余金は返還しなければなりません。

政務調査費収支実績報告（議員合計額）

項目	金額(円)	
収入(交付金)	4,680,000	
支出	調査研究関係費	3,142,726
	資料関係費	637,287
	広報公聴関係費	0
	その他	0
合計	3,780,013	
残余额(返還額)	899,987	

政務調査費受給者（13人）

前重昌敬 青原敏治
 大下正幸 金行哲昭
 水戸真悟 入本和男
 山根温子 今村義照
 山本優 塚本近
 秋田雅朝 藤井昌之
 赤川三郎

政務調査費として支出できるもの

研究研修費	研究会・研修会を開催するために必要な経費、または他の団体の開催する研究会・研修会に参加するために要する経費 (会場費、講師謝金、出席者負担金、会費、交通費、旅費、宿泊費等)
調査旅費	調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費 (交通費、旅費、宿泊費等)
資料作成費	調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費 (印刷製本代、翻訳料等)
資料購入費	調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	調査研究活動、議会活動、市の政策を市民に報告・PRするために要する経費 (広報紙、報告書印刷費、送料、会場費等)
広聴費	市民からの市政・議会等に対する要望・意見を聞くための会議等に要する経費 (会場費、印刷費、茶菓子代等)
その他の経費	上記以外の経費で議員の行う調査研究活動に必要な経費

委員人事

つぎのとおり異動がありました

◎産業建設常任委員会（異動日 6月2日付）

委員長：（新）前川 正昭 （旧）入本 和男 副委員長：（新）石飛 慶久 （旧）和田 一雄

◎議会運営委員会（異動日 6月2日付）

委員：（新）前川 正昭 （旧）入本 和男

◎議会広報特別委員会（異動日 6月29日付）

委員：（新）亀岡 等 （旧）和田 一雄

安芸高田市議会議長 藤井 昌之

つぎのとおり就任しました

全国市議会議長会 建設運輸委員会 委員長

（任期：23年6月17日～1年間）

他に、国と地方の協議の場等に関する特別委員会委員、全国高速自動車道市議会協議会監事を務めています。

広島県市議会議長会 副会長

（任期：23年5月23日～1年間）



全国・中国市議会議長会 議員表彰 8人の現職議員が受賞

- 全国市議会議長会表彰：塚本 近（高 宮）……………議員10年
- 中国市議会議長会表彰：亀岡 等（美土里）……………議員32年
- 青原 敏治（八千代） 金行 哲昭（甲 田）……………議員16年
- 入本 和男（甲 田） 今村 義照（甲 田）…………… //
- 赤川 三郎（吉 田） 塚本 近（高 宮）……………議員12年
- 秋田 雅朝（高 宮）……………議員8年

地方議会議員年金制度 廃止

議員年金制度が今年6月から廃止となりました。

合併と行政改革で議員数が減ったことなどが大きな要因です。

議会議員年金制度の廃止後の給付に要する費用は、地方公共団体（都道府県・市町村）が負担することとされています。（地方議会議員共済会が保有する残余の積立金を除く）

23年4月～7月の報告

■23年4月7日から7月19日までの議会の活動状況は次のとおりです。

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
4	7	木	全員協議会	小学校まるごと集団疎開支援計画について
			23年第2回臨時会	23年度一般会計補正予算（第1号）
	11	月	議会広報特別委員会	議会だより第29号の編集・校正について
	15	金	議会広報特別委員会	議会だより第29号の編集・校正について
	18	月	産業建設常任委員会	市汚泥再生処理センターの概要について
	20	水	全員協議会	議長報告等（議会のうごき、委員長報告）
			議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	22	金	議会広報特別委員会	議会だより第29号の最終校正について
28	木	全員協議会	議長報告等	
30	土	全員協議会（臨時）	議長報告等	
5	9	月	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	16	月	総務企画常任委員会	所管事務調査1件、市長報告4件
	17	火	産業建設常任委員会	所管事務調査2件、市長報告2件
	18	水	文教厚生常任委員会	所管事務調査3件、市長報告3件
	19	木	議会運営委員会	23年第2回定例会の運営について
	20	金	全員協議会	23年度議会報告会について
	23	月	葬斎場建設調査特別委員会	火葬炉設備業者の選定経過について
	27	金	議会広報特別委員会	視察対応（山口県和木町議会視察来訪）
6	2	木	産業建設常任委員会	市長報告1件
	6	月	議会運営委員会	23年第2回定例会の運営について
	13	月	第2回定例会（開会）	議案上程、委員会付託
	14	火	予算常任委員会	付託議案審査1件（補正予算第2号）
	17	金	全員協議会	23年度議会報告会について
	20	月	第2回定例会（一般質問）	質問者6人
	21	火	第2回定例会（一般質問）	質問者5人
	22	水	総務企画常任委員会	付託議案1件、事務調査2件、陳情審査1件
	23	木	文教厚生常任委員会	事務調査1件、市長報告3件、陳情審査2件
	24	金	産業建設常任委員会	付託議案4件、陳情審査1件
29	水	第2回定例会（閉会）	議案6件、発議2件（審議・採決）	
7	1	金	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	6	水	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	11	月	議会広報特別委員会	議会だより第30号の編集について
	12	火	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	14	木	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	19	火	議会広報特別委員会	議会だより第30号の編集・校正について

■23年第3回定例会は9月初旬から下旬の開催を予定しています。

※詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

■ お詫びと訂正

「議会だより 第29号 2011（平成23）年5月1日発行」8ページで、公民館条例一部改正欄の「廃止される公民館」の中の中央写真で、「高宮公民館」とあるのを「たかみや人権会館との複合施設である公民館部分」と訂正します。誤解をまねきましたこと、お詫びいたします。

高宮公民館は廃止となりましたが、その機能はすべて「たかみや人権会館」に移りますので、利用されている方には、これまでどおり使用していただけます。

地域のかがやき

吉田 シャッターアート 地域に元気を



吉田高校美術部のみなさん (6月25日)

八千代 夏の風物 納涼夏まつり



八千代南保育園 (7月10日)

美土里 元気いっぱい 芝生の運動会



美土里小学校 (5月15日)

高宮 日頃の訓練の積み重ねで有事即応!



第49回 高宮方面隊分団査閲 (7月3日)

甲田 会員募集中



甲田陶芸教室のみなさん (6月9日)

向原 第8回グランドゴルフ大会



戸島地域振興会 (6月25日)

編集後記

福島原発の事故は、原子力発電の推進政策に国民を信用させてきた安全神話もろともに完全に崩れ去った。

かえりみると、ここに至るまでには原発の危険性と、脱原発を主張してきた人達も居たが、そうした警鐘を黙殺してきた政治の結果が今回の原発事故被害を招いたと言っても過言ではあるまい。

国の主権者たる国民は、日常から政治の動向を注視することが強く求められていることを、原発事故は示していると云えるのではないか。

(亀岡 等)

〈発行責任者〉

議長 藤井 昌之

〈議会広報特別委員会〉

委員長 穴戸 邦夫

副委員長 石飛 慶久

委員 前重 昌敬

委員 水戸 眞悟

委員 山本 優

委員 亀岡 等



あきたかた
議会だより
人輝く・安芸高田

第30号 2011(平成23)年8月1日発行

発行所 安芸高田市議会 編集 安芸高田市議会広報特別委員会

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地 TEL(0826)42-5621

FAX(0826)47-0250 http://www.akitakata.jp/